

<別紙1>

## 第三者評価結果報告書

① 第三者評価機関名

株式会社フィールズ

② 施設・事業所情報

名称：鶴見ポケット保育園	種別：認可保育所	
代表者氏名：青木 真紀子	定員（利用人数）：62名（利用者：62名）	
所在地：〒230-0051 横浜市鶴見区鶴見中央1-7-5		
TEL：045-642-6191	ホームページ： <a href="http://tsurumipocket.com/">http://tsurumipocket.com/</a>	
【施設・事業所の概要】		
開設年月日： 2013年4月1日		
経営法人・設置主体（法人名等）：有限会社KBC		
職員数	常勤職員： 15名	非常勤職員： 7名
専門職員	園長 1名	主任 1名
	保育士 15名	管理栄養士 1名
	栄養士 1名	事務員 1名
施設・設備の概要	保育室 6室	トイレ 7カ所
	多目的室 1室	調理室 1ヶ所
	事務室 1室	職員休憩室 1室
	園庭 有	

③ 理念・基本方針

<p>《保育理念》</p> <p>◎保護者、園職員、地域の方々、皆で見守る優しい環境づくりを大切にする</p> <p>↓</p> <p>温かい保育園…子ども達の健やかな成長をみんなで見守り、お互い助け合いながら、良い関係を築いていきます</p> <p>《保育方針》</p> <p>子どもたち1人ひとりの個性に寄り添いながら「認める」「褒める」「考えて」共に成長を喜び</p> <p>↓</p> <p>環境、育ちによっても個性があります みんな違ってみんないい…個々の成長過程を大切にしながら寄り添っていきます やってみたい！という気持ちをかなえてあげて共に過程を見守りそして自信につなげていきます</p> <p>《保育目標》</p> <p>①一人ひとりの個性を尊重し、その個別の状況に応じた きめ細やかな子ども支援と家庭支援</p> <p>②心と体の健康を大切にし、情緒豊かな人間関係の構築</p> <p>③「よく食べ、よく遊び、よく眠る」基本的な生活習慣の確立</p> <p>↓</p> <p>保育園には保育士以外にもたくさんの職種の方々に見守られながら運営しています</p>
---

職種においてプロ意識はもちろんの事、日々、真剣に、そして子どもたちの成長段階に応じた対応をしていきます  
子どもらしく…たくさん経験を経て、大きく育ててほしい…

ポケットの子どもたちは…  
ポケットの中ってほっこり温かい…ひまわりのように育つ、温かい日差しの中で育つ、子どものように…  
ぬくもり溢れる愛情の中で育ててほしい…という思いがあります

#### ④施設・事業所の特徴的な取組

自園はJR鶴見駅から徒歩1分ほどで非常に立地の良い保育園です。また園付近もたくさんの公園があり乳幼児は遊びながら学ぶ…ということ大切にしているので、目的やその日の状況に合わせて柔軟な対応をしながら、天気の良い日は近隣の公園へ遊びに出かけます。近隣園もたくさんあるので一緒になった際には声を掛け合いながら遊んでいます。季節を感じながら、散歩も楽しんでおり、地域の方も大変親切で声をかけてくださることも多く、共に挨拶をしながらマナーや交通ルール、約束事も学んでいます。

外部講師も充実しています！

《学研指導教室》月1回は学研教室講師の指導を幼児クラスが各学年ごとに行っています。また毎週、多目的室を開放して希望者は課外授業として学研教室を行っています。

《ダンス教室》月1回はダンス教室講師が来園し、幼児クラスが各学年ごとに行っています。毎年のお楽しみ会(発表会)には保護者の方にも見て頂きます。

《交通安全指導》年に数回神奈川県交通安全課や警察官の交通安全指導があります。日頃の散歩中も交通ルールを伝えていますが、改めて外部からも指導があると浸透しやすく子どもたちも意識して守っています

食育の取り組みも充実しています！

幼児クラスは季節の野菜を栽培しています。苗、または種を買い、観察、収穫、クッキングへとつなげています。

食への取り組みも充実し、給食を食べるだけでなく、作ってくれる給食室の職員にも親しみを持てるよう毎日食材の野菜の名前を聞いて食に興味を持てるようにしています。

また離乳食児に関しては0歳児担任と栄養士で個々の食べ具合や提供する食材について出し方を毎日話し合っています。

会議の中では日頃からの食事やおやつので積極的に意見交換をし安全に食事ができるように改善策につなげています。子どもたちが食に興味を持ち、楽しく食事ができることを願っています。

子どもたちは日々の経験が大事な経験です！

毎日、安心して安全に過ごせるように計画はしていますが、その時の状況に応じて柔軟に対応できるようにしています。乳児期は愛着の土台が大切で基本的信頼感、自己肯定感、アタッチメントを育てていきます。

その経験が基盤となり幼児期は大人になって社会で生き抜いていく為の生きる力を育てていきます。

子どもたちは保育園が楽しいとキラキラ笑顔で過ごせているのがわかります。子どもの気持ちに寄り添い受け止めたり、助言したりしながら子どもが納得できるように関

わっています。

行事ももりだくさん！

誕生会(保護者も参加OK)・遠足・虫歯予防デー・七夕会・プール開き会・スイカ割り・敬老会・運動会・保育参加・ハロウィン・秋の収穫・お楽しみ会・節分会・ひなまつり会・お別れ会・卒園式と全職員、全園児で楽しんでいます。厨房からは、行事食(七夕・ハロウィン・クリスマス・節分)もあります。子どもたちもとても楽しみにしています。

#### ⑤第三者評価の受審状況

評価実施期間	令和5年1月24日(契約日) ～ 令和5年10月20日(評価結果確定日)
受審回数(前回の受審時期)	1回(2015年度)

#### ⑥総評

◇特長や今後期待される点

##### 1)異年齢での関わりからの子どもの育ち合い

5歳児クラスを中心にした幼児クラスの保育活動の中で子どもたちと話し合い、「世界旅行」という秋祭りのテーマが生まれました。多国籍の子どもが多く、色々な世界を知りたい子どもの気持ちを職員が感じ取り、実現できる環境を整えました。一人ひとりが秋祭りを作りあげている意識を持てるように、職員自身も楽しみながら援助の仕方を日々工夫しています。また、朝の会と帰りの会は全園児が多目的室に集合することで同じ時間を過ごし、日々異年齢で楽しむ時間になっています。

##### 2)子ども一人ひとりの育ちを大切に考える保育

月間指導計画は全クラス一人ひとりの子どもの様子・配慮・援助を記載する様式です。保護者とも連絡を密にし、子どもの成長、発達にとって大切なものを取り入れるとともに、一人ひとりの姿や成長に重きを置き、適切な保育が行われる計画となるようにしています。指導計画の振り返りや自己評価は子どもの発達や心の育ち・意欲・興味などをよく観察し、職員の援助・かかわりが適切であったかなどを確認しながら行っています。

##### 3)職員がそれぞれの役割を担い、協力できる働きやすい環境

園長は、職員が組織の中で望まれる役割を担え、一人ひとりが経験を積む環境を作っています。任せられることは主任や現場職員に任せ、最終決定、判断は園長が行うことでその指導力を発揮しています。職員にとって働きやすく、自身の考えや意見を自由に発言でき、他の職員と協力して保育力の向上が図れるよう工夫しています。働きやすい環境を作り出し、職員の定着、確保に努めていることは、職員の在職年数の長さ、今年度からのミドルリーダー配置からもうかがえます。職員の離職率が少なく、その為、毎年反省や意見を生かし、保育向上にもつながっています。また、その環境が子どもたち、保護者にとっても大きな安心感にもつながります。

##### 4)定期的な利用者満足や意向の把握

保護者の意向は、口頭、連絡アプリケーション、個人面談等から把握しています。また、日常の会話の中で気軽に伝えてもらえるような保護者との関係作りや触れ合いも大切にしています。しかし、園として定期的に理念や基本方針の周知度や利用者満足を把握することなどは行っていません。何らかのツールで定期的に把握し、保育サービスの向上につなげていくことが期待されます。

5)ヒヤリハット事例収集のさらなる活発化

リスクマネジメントに関するマニュアル類があり、職員は必要時に適切に対応できるようになっています。危機管理訓練を実施し、園長を含め振り返りを行うことで園の事故対応のスキル向上に努めています。今後、さらなる事故防止の気づきにつなげられるよう、日誌の項目にあるヒヤリハット事例収集の活発化が望まれます。

⑦第三者評価結果に対する施設・事業所のコメント

この度、第三者評価を受審し、私たちは日々当たり前に感じていたところが「これって大いに自慢して良いところなんだ！」と思えることも多く、改めて気付かせていただきました。

園の良さを十分に引き出してくださったことにより、今後とも、より自信をもって大切にしたい！と思うことができました。

今回は職員を職務問わずにグループ分けをして項目について話し合いを行いました。各グループごとのリーダーを“副主任”、“ミドルリーダー”が行いグループをまとめました。キャリアパス制度を大いに活用しながらリーダーの役目も発揮し、職員の関係や園職員としてより一丸になれた気がします。またその中で、率直な職員の思いも改めて知ることができました。

開園して11年目となり、職員の離職率も少ない中での受審は、今後においてより向上していける為の貴重なものとなりました。何より職員がより一層“一丸”になれた気がします。ワンチームとなって、今後とも一人ひとりが“鶴見ポケット保育園の顔”であること、ともに園を作っていく”意識を持ち、とても良かったと思えました。

これからも地域の皆様に期待して頂けるよう、「鶴見ポケット保育園で良かった…」と感じて頂ける園を作っていくよう精進致します。

たくさんの貴重なご意見、あたたかなお言葉をありがとうございました。心より感謝申し上げます。

⑧第三者評価結果

別紙2のとおり